



《ブルトンヌ》1920(大正9)年 千葉市美術館

山本 鼎のすべて展

「自分が直接感じたものが尊い」
の実像に迫る

2014.10.2[木] → 11.9[日]

- 開館時間 9:00～17:00(10月2日は13:00～17:00/入場は16:30まで)
- 休館日 火曜日
- 入場料 一般800円(700円) 大学・専門学校生500円(400円) 高校生以下無料
10月2日、3日は入場無料 ※()内は20名以上の団体料金



 **上田市立美術館**

[お問い合わせ] 長野県上田市天神3-15-15 TEL0268-27-2300

[主催] 上田市、上田市教育委員会

[共催] 信濃毎日新聞社、SBC信越放送

[協賛] 株式会社ミマキエンジニアリング



山本鼎のすべて展

「自分が直接感じたものが尊い、の実像に迫る

山本鼎（やまもとかなえ/ 1882-1946）は、創作版画の提唱者、さらには児童自由画教育運動・農民美術運動の推進者として知られる洋画家です。彼は青年時代に彫版職人から創作版画家へと転身、洋画を学ぶため4年間を欧州留学に過ごし、「自分が直接感じたものが尊い」という言葉で表される「ある確信」を得て帰国します。帰国後は信州上田を拠点に全国に先駆けて大正時代の美術教育に新たな風を吹き込みました。本展では彼の創作版画の代表作《漁夫》《ブルトンヌ》のほか、《水鳥》など農民美術のための優れたデザイン画の数々、留学時代の代表作《サーシャ》《自画像》のほか、彼の芸術上の信念を大いに触発したセザンヌら印象派画家たちの作品もご紹介しながら、マルチな才能を発揮した彼の姿を多面的に見ていきます。



《自画像》1915(大正4)年



《漁夫》1904(明治37)年



《サーシャ》1916(大正5)年 大原美術館



《支那婦人》1917(大正6)年



《プレンダーニウの入江》1917(大正6)年

ポール・セザンヌ 上田初公開

山本鼎を触発した印象派画家たちの作品



ポール・セザンヌ 《ラム酒の瓶のある静物》
1890年頃/油彩・カンヴァス/ボレー美術館

このほか、下記作品も同時展示されます。
ポール・セザンヌ(ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山)
ピエール・オーギュスト・ルノワール 《読書する女》
クロード・モネ 《ジヴェルニー付近のセーズ川》

関連の催し

①山本鼎のすべて展シンポジウム

10月13日(月・祝)

会場：多目的ルーム

(山本鼎のすべて展 第3会場横)

※入場無料

【シンポジウム1】

作家としての山本鼎 (10:00～11:30)

パネリスト

西山純子氏/千葉市美術館学芸員

小林未央子氏/日本大学芸術学部非常勤講師

窪島誠一郎氏/信濃デッサン館・無言館館主

【シンポジウム2】

教育者 鼎 が追い求めたもの (13:30～15:00)

パネリスト

金子一夫氏/茨木大学教育学部教授

村上 民氏/学校法人自由学園 図書館・資料室

清水義博氏/長野県農民美術連合会会長

②学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週土曜日 13:30～

※事前申込み不要。当日の入場者に限りです

③農民美術新作展

日時：10月18日(土)～27日(月)

9:00～17:00 (最終日は16:00まで)

会場：多目的ルーム

(山本鼎のすべて展第3会場横)

※山本鼎の農民美術運動開始から95周年を迎えた現代の農民美術をご紹介します。

④子どもアトリエ

展覧会期間中、木彫り体験、版画教室、児童生徒美術展などを開催。

詳細はお問い合わせください。

観覧料	(団体は20名以上)
一般	800円 (団体700円)
大学・専門学校生	500円 (団体400円)
高校生以下	無料



アクセス/JR長野新幹線・上田駅下車徒歩7分

上田市立美術館



〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15
TEL 0268-27-2300 / FAX 0268-27-2310
www.city.ueda.nagano.jp/hp/santomyuze/